

第38回文化祭報告

2024年1月22日

川連協・40期 加来 政純

長かったコロナ感染拡大もどうにか落ち着き、2023年（令和5年）11月21日（火）～23日（木）までの3日間、例年通り川越中央図書館展示室で「第38回文化祭」を開催致しました。開催にあたり準備にご協力頂いた38期、40期、42期、専課、個人会員及び校友会の皆様には厚く御礼申し上げます。今回は図書館の都合で例年通りの日程が確保出来ず、3日間となりましたが、皆様のご協力で出品点数で昨年を上回り、来場者数も例年と殆ど変わらない人数となりました。

今回の開催に当たり退会した期の責任者宛てに参加依頼をしましたが、36期は独自開催のため不参加、その他の期は活動はしていない等々の理由で出品者を増やすことが出来ませんでした。また、県連協退会時に川連協文化祭開催時には連絡が欲しいと依頼されておりましたが、昨年も今年も誰も来場が無く連絡も無い為、来期の案内は出す必要はないと判断しています。

文化祭開催期間の3日間の来場者数は230名で昨年の265名より35名少なくなりましたが、1日当たりの来場者数は昨年は66.3人で今回は76.7人となり平均10人増となりました。日毎の来場者数は11/21（火）65人、11/22（水）85人、11/23（木・祭日）80人でありました。

来場者の傾向は一部所沢在住の会員が地元の知人に積極的に来場を呼び掛けたのが目立ちました。今回の開催に当たり川越市広報、図書館HP掲載等を行いましたが目立った効果はなく、今後川越在住者の知人に積極的な呼び掛けを行う等、皆が努力されますよう期待します。

出展作品は下記の通りです。手工芸以外は前年以上の出品となり合計で15%以上の増加となりました。

	絵画	絵手紙	写真	書	手工芸	折り紙	計
本年度	25	210	23	2	36	111	407点
昨年度	24	168	17	1	44	100	354点
前年比	104.2%	125.0%	135.3%	200.0%	81.8%	111.0%	115.0%

今回の出展の特徴は絵手紙と折り紙が目立って点数が多く、従来主流であった絵画、写真、書が減少し、この傾向は昨年も指摘されていた「川連協構成期の減少と会員年齢層の上昇が原因」であり、現状を見ると止むを得ない事と思います。

会場に置いた自由ノートには率直な意見が記されておりました。各期ともそれぞれ工夫した跡が見られ、特に40期の折り紙は素晴らしい出来栄で、その他の作品もレベルが高く手先の器用さに驚いた等お褒めの言葉を頂きました。また、何方か名前がはっきりしませんでしたがお菓子等の差し入れがありました事を報告致します。

以上